＜審査基準＞

審査に当たっては、審査委員会の各委員が「審査基準」に基づき採点し、最も優れた企画提案者を本事業の優先交渉権者として決定する。また、評価点の合計が高い順に優先交渉順位を決定する。

ただし、二次審査において、委員の評価点合計が800点満点中480点（6割）未満の場合、その企画提案者は失格となる。

なお、企画提案者が１者の場合でも審査を実施することとする。

評価項目		評価の視点	配点
1. 技術提案に関する事項	導入設備の内容	・ 設備機器・容量 ・ 導入設備の安全性（施設への影響が最小限にとどめられる設置仕様）	6
	二酸化炭素排出量の削減効果	・ 事業全体における CO2 排出量削減効果 ・ シミュレーションにおける算定数値の適正さ	5
	災害等、非常時利用の内容	・ 災害時、非常時における太陽光発電設備及び蓄電池の活用の仕組み ・ 非常時を想定した運用方法・支援体制の整備内容	3
	特性を踏まえた独自提案の内容	・ 有する知見を活かした提案内容と、市のゼロカーボンシティ実現に向けた施策との親和性	5
2. 実施体制	工事遂行能力	・ 十分な専門的知識やノウハウ、技術力を有しており、安全確実に施工できる実施体制であるか ・ 活用補助金交付要綱等に規定の期日までに確実に施工完了できるスケジュールであるか	15
	業務遂行能力	・ 十分な専門的知識やノウハウ、技術力を有しており、安全で確実にメンテナンスできる実施体制であるか ・ 具体性・妥当性のあるメンテナンス計画であるか ・ 故障、緊急時等の対応について連絡体制が明示され、安定した事業実施が見込まれるか。	15
	事業実施中のリスク対応 長期契約における事業実施体制・継続性に係る保証 会社概要	・ 事業実施中に発生するリスクについて対応できる内容の提案となっているか。 ・ 設備の導入、運転期間中、撤去まで確実に網羅する実施体制がとられた提案となっているか ・ 長期間にわたる事業継続を保証できる提案となっているか（保険の保証期間・内容・種類） ・ 財務状況等は健全で、事業完遂できる資金計画が立てられているか	15
	地域事業者の活用	・ 県内事業者を活用する提案となっているか	8
3. 実績	類似実績	・ 過去に類似する施工、運用実績があり、 問題なく実施が見込めるか ・ 本事業で活用する補助金採択実績の有無	8
4. 電力料金（概算単価）	提案単価	・ 自家消費料金単価、算出方法は妥当か	20